



# 「二期」着工策動の大爆発で「二期」着工策動



84. 4. 17

No. 1619

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五〜六（公衆）〇四七二二七二〇七

## 焦る反動の「促進決議」「情況・世論」 デッチ上げ「攻撃を許すな」



三里塚現地では、今、「今秋二期着工」を狙って焦る政府・公団、そして脱落派をはじめとする全反動勢力のなりふりかまわぬ凶暴な攻撃が激化しています。そして、3・25一万二千余名の大結集をもって、ますます意気高く「二期実力阻止」につき進む反対同盟は、これらを真向から受けてたち、実力粉碎すべく、敷地内を先頭として激烈な攻防戦に決起しています。



### 機動隊導入し、「促進決議」の デッチあげ

「話し合い」策動を断固拒否して闘う敷地内の不屈の反撃と、これに呼応した全国の闘う人民の総決起の開始に焦った反動攻勢は、遂に3月17日芝山町議会に機動隊を導入して、町民を一切暴力的にしめだして「二期促進」決議を強行するといふ暴挙にうったえました。

さらに、4月5日には「関連市町村と千葉県議会も含め、十六個の同意が得られた」と称して、「二期工事の早期推進」を政府に要請しました。これは「この期を逃したら利権のうまい汁が吸えない」というハイエナごときの「決議」であり、断じて許せません。

### 自民党議員団・真行寺町長・沼田 県知事らが、中曽根に陳情

そして、4月10日、千葉県出身の自民党国会議員団は、わざわざ東京都内で「成田空港二期工事促進会議」なるものを開催し、中曽根に「二期早期着工」を申し入れ、さらに「二期促進のために、三千億円の予算を早期に使うよう」要請しました。翌4月11日、芝山町の反動町議と真行寺町長ら13名は、運輸大臣・細田に面会を求め「早期完成」とそれに伴う「周辺対策」と称した、条件要求を行いました。

さらに、県知事沼田は、昨年暮れの沼田―長谷川（当時運輸大臣）会談をエスカレートさせ、ちかぢか、異例の「中曽根―沼田会談」を要請したと伝えられています。

### 機動隊を大量投入して「用水」 「警備道路」の着工

そして現地では、そうした状況をうけて、成田用水・菱田工区の4月、本格工事着工攻撃が開始されました。同時にこの用水攻撃と一体のものとして、彼らは、「資材輸送・警備道路」の建設に着手しようとしています。これらは、権力・機動

隊を投入し、デッチ上げの「既成事実」をつくるものとして強行されようとしているのです。

### 断固として敷地内農民を守れ

このように、反動勢力が「二期促進の情況づくりに血眼になって奔走しているのは、明確に3・25の大爆発―大勝利に恐怖したものに他なりません。彼らの焦りは、どのように外堀を反動的に埋めようが、結局は、二期工区、すなわち敷地内反対同盟農民の「一切の話し合い拒否」「農地死守」「実力闘争」の確固不動の闘いがある限り、「二期」が破産することは明らかだからです。

だから、このような「促進決議」や「情況・世論」づくり「予算のとりつけ」等々の重圧を加えて、敷地内農民をなんとか切り崩して「条件派」にとりこめないか、とはかない望みを必死でかけているのです。

このような動向をうけて、社会党県議員団は、同じく11日、県知事・沼田に対して、このような動きは、明らかに二期促進へ向けての情勢を強引につくりだそうとする利権がらみの策動であるとして、「敷地内農家十二戸および反対同盟農民との合意がない限り二期はやるべきではない」と申し入れました。

### 5・20現地闘争の爆発かちとろう

全ての皆さん、このように、反動の側は、今、一斉に焦りにかられて、二期早期着工への「情況」デッチ上げ策動―三里塚闘争解体・反対同盟の総条件派化を狙った凶暴な攻撃に全力でうってでてきています。すでに反対同盟は、現地で実力決起に入っています。あくまでも敷地内農民を守り切り、一万二千余名の大結集で勝利した3・25闘争の真価を發揮して、共に闘おうではありませんか。「5・20全国総決起集会」に向けて全力でつき進んでいこうではありませんか。